



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第6号

2004. 6. 1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県芸北町にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- 広島ホームテレビの番組内で八幡を紹介
- 広島テレビの番組内で土嶽の湿原復元プロジェクトが紹介
- 『芸北まるごと博物館』の販売を開始

活動報告

- 春のブナ林の動植物
- 原生林バードウォッチング

観察会案内

- 阿佐山の植物と昆虫
- 湿原再生プロジェクト 夏の植生調査
- 湿原の植物と昆虫

花だより

- カンボク
- タニウツギ
- トゲミノキンポウゲ

おしらせ

広島ホームテレビの番組内で八幡を紹介しました (2003.5.19)

「HOME Jステーション」の西日本紀行というコーナーで、しらかわが新緑の芸北を紹介しました。

HOME Jステーション：

<http://www.home-tv.co.jp/jstation/index.html>

広島テレビの番組内で土嶽の湿原復元プロジェクトが紹介されました (2003.5.30)

広島県の広報番組「おはよう！広島県」の5月30日放送分で、土嶽の湿原復元プロジェクトが紹介されました。

広島テレビ：

<http://www.htv.jp/index.html>

『芸北まるごと博物館』の販売を開始しました

(2004.5.15)

高原の自然館での販売を開始しました。また、自然館で実際に視聴頂けますので、試してからご購入頂けます。通信販売も引き続き承っています。

活動報告

春のブナ林観察会

開催日時：5月9日（日）10:00～14:00

集合場所：高原の自然館

講師：斎藤隆登・佐久間智子

主催：西中国山地自然史研究会

協力：高原の自然館，芸北町民文化ホール

あいにくの雨天でしたが，26人の人が高原の自然館に集まりました。それぞれの自己紹介をした後，斎藤先生にブナ林の話をして頂いてから，車に分乗していざ苅尾へ。細かい雨に包まれた林の中，二人の先生の解説を聞きながら3時間程度かけて歩きました。遅い昼食をはさんで花合わせをしたところ，87種の植物を観察していました。

【花の咲いていたもの】イワカガミ，ウスギヨウラク，エゾユズリハ，オオカメノキ，オオタチツボスミレ，オトコヨウゾメ，カラコギカエデ，カンスゲ，キイトスゲ，クロモジ，コスミレ，コチャルメルソウ，スミレサイシン，タチツボスミレ，チゴユリ，ツクバネソウ，ツボスミレ，ツリバナ，ナガバモミジイチゴ，ニシキゴロモ，ハイイヌガヤ，ホオノキ，マムシグサ，ミヤマカタバミ，ミヤマガマズミ，ミヤマカンスゲ，ミヤマシキミ，ユキザサ，ウワミズザクラ，エンレイソウ

【その他】アサノハカエデ，アブラチャン，イタヤカエデ，イヌツゲ，イノデ，イワガラミ，ウバユリ，ウリハダカエデ，エビヅル，オオイタヤメイゲツ，キブシ，ギンリョウソウ，クルマムグラ sp.，コアジサイ，コシアブラ，コハウチワカエデ，コマユミ，ササユリ，サルナシ，サワグルミ，サワダツ，サワフタギ，シシウド，ジュウモンジシダ，シラネウラボ，スノキ，ダイセンミツバツツジ，タチシオデ，タンナサワフタギ，チュウゴクザサ，ツクシミノボロスゲ，ツルアジサイ，ツルニンジン，ツルマサキ，ツルリンドウ，トキノキ，ナツツバキ，ナツハゼ，ニワトコ，ノリウツギ，ハスノハイチゴ，ハナイカダ，ブナ，ホウチャクソウ，マルバフユイチゴ，ミズキ，ミヤマイボタ，ヤブデマリ，ヤマアジサイ，ヤマウグイスカグラ，ヤマザクラ，ヤマジノホトトギス，ヤマソテツ，ヤマボウシ，リョウブ，リョウメンシダ，ワタゲカマツカ



あいにくの雨だったが，カッパを着てたくさんの方が集まった。



今日の講師，斎藤先生にブナやブナ林に生育する植物の話をして頂いた。



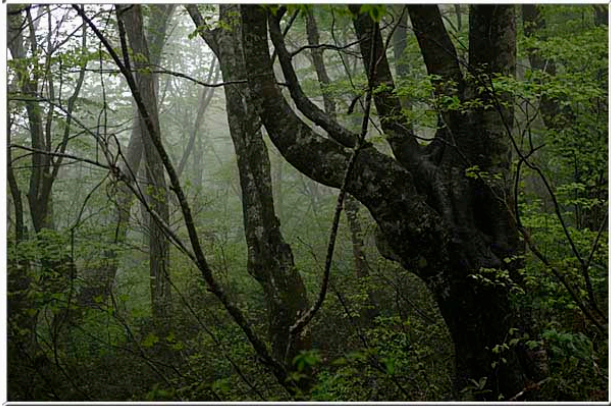
雪霊水でわれわれを迎えたのは，巨大なブナの倒木。こうして世代が交代し，ブナの林が維持されている。



もう一人の講師，佐久間先生。
ご専門は里山ということだが，何でもご存知。



山頂付近で見たエビツルの新芽は，まるで花のよう。



いよいよブナ林へ。初夏のブナ林には雨がよく似合う。



山頂付近では樹高が低くなり，高木は吹き抜ける風に枝を奪われている。



ブナの若木。
こんなに小さくても4～5年以上も経っているかもしれない。



車道への道を下りながらも観察会は続いた。

活動報告

原生林バードウォッチング

開催日時：5月15日(土) 5:00
集合場所：芸北町 臥竜山雪霊水付近
講師：上野吉雄
主催：西中国山地自然史研究会
協力：高原の自然館, 芸北町民文化ホール

皆さん熱心、早朝にもかかわらず(遅刻もありましたが)38人が雪霊水に集合しました。それぞれ自己紹介のあと、さっそくクロツグミの声。ミソサザイは今年もすぐそばで鳴いて枝を飛び渡る。アカショウビンはどうも近くで鳴くんだけれど、姿は確認できず(観察会終了後、ねぼって見た人はいます)。オオルリは例年のポイントから確認、口パクで高らかにさえずっていました。講師いわく、声のみで種を特定したり、姿を見つけることができるようになるには、やっぱり「場数を踏むこと」。いつもながら、講師の方やハイレベルな参加者の感覚に脱帽。終了近くにはカッコウも鳴き始めました。

今回の報告では、一部の写真を荒木則行氏、藤原俊二氏にご提供頂きました。ありがとうございました。

【観察された鳥】

ミソサザイ・クロツグミ・オオルリ・アオゲラ・ゴジュウカラ・マミジロ

【声が聞かれた鳥】

アカショウビン・コルリ・ヒガラ・カッコウ・ヤマドリ・コガラ・コゲラ・ツツドリ・アオバト・キビタキ・ウグイス

【観察された植物】

ユキザサ・ウスギヨウラク・ラショウモンカズラ・チゴユリ・リョウメンシダ・ニシキゴロモ・ツボスミレ・トチノキ・ニワトコ・ウリハダカエデ・ウワミズザクラ・クロモジ・イタヤカエデ



まず、マミジロの観察。夏鳥として渡来、♂は眉が白いのが特徴。



毎年、ミソサザイはサービス精神旺盛。みんなの目の前でさえずってくれるんです。



オオルリだ。今年も観たぞ！



この茂みのあの枝にオオルリがいます。



我こそはコルリなり。チッ、チッ、チッと地鳴き3つがポイント。



みんな真剣。「あそこ、あそこ」と同じ方向をむく。



先生は質問攻め、このときとばかりに質問が集中。



ソングポイント。たからかに歌い上げるまだ若いオオルリ、羽に茶色が残る。



今日観察できた鳥をみんなで報告し合い、先生にチェックてもらおう。

観 察 会 案 内

● 春のブナ林の動植物

毎年、この時期には天狗石山で動植物を観察していましたが、今年は目先を変えて阿佐山を歩きます。美和小学校の校歌にも歌われるこの山で、さて、どんな生き物が待っているのでしょうか？

開催日時：6月20日（日）10：00～
講師：岩見潤治・暮町昌保・斎藤隆登・和田秀次
集合場所：清流の家（芸北町大暮）
準備：山を歩ける服装、弁当、雨具、ルーペ、図鑑、メモ、おやつ等
定員：30名（必ず予約をしてください）
参加料：1,000円（ただし、会員は無料）

花 だ よ り

カキツバタで沸いた八幡も、レンゲツツジの花が終わる頃には徐々に落ち着きを取り戻すことでしょう。そんな人の動きはよそに、ウツギ科の花が咲き始めています。八幡通の季節・・・？

【カンボク】

八幡の梅雨を彩るのはアジサイではなくこの大きく白い花。葉の形・色との対比が美しい。

【タニウツギ】

雲耕（うずのう）の谷沿いにまとまって見られます。栽培かと思うほど艶やか。

【トゲミノキンポウゲ】

キンポウゲの黄色い花がひろがる草原。その向こうにはヤドリギのたくさん付いた木が立っている。そんな写真を見た（撮った）人も多いのではないのでしょうか。千町原の一角に咲くこの花は、ヨーロッパ原産の帰化植物です。

いよいよ夏がやってきますね。
この「もうすぐ夏」という時期は「今年はあれもしよう」「ここに行きたい」と、ソワソワワクワクしてしまいます。ピッカピカの盛夏の前には梅雨が必ずあるのですが、しっとり濡れた八幡もいいですよ。

● 湿原再生プロジェクト 夏の植生調査

春に作った「棚田」は、はたして機能しているのでしょうか？今回の調査は、棚田設置箇所で重点的に植生を調べます。一昨年・昨年と続けた調査がここに生きてきます。

開催日時：6月27日（日）10：00～
集合場所：高原の自然館
準備：作業のできる服装、長靴、弁当、雨具、ルーペ、図鑑、メモ、おやつ等（かりお茶屋もご利用いただけます）
定員：30名（必ず予約をしてください）
参加料：無料

● 湿原の植物と昆虫

いつ訪れても別の顔を見せてくれる八幡湿原。今年も充実の講師陣で臨みます。

開催日時：7月4日（日）10：00～
講師：岩見潤治・斎藤隆登・水田國康・和田秀次
集合場所：高原の自然館
準備：山を歩ける服装、弁当、雨具、双眼鏡、ルーペ、図鑑、メモ、おやつ等（かりお茶屋もご利用いただけます）
定員：30名（必ず予約をしてください。）
参加料：1,000円（ただし、会員は無料）

— インターネット版のご紹介 —

苅尾電波塔はe-mailでも発行されています。また、高原の自然館ホームページからはpdfファイルをダウンロードできます。インターネットを利用すれば、関連ホームページにジャンプしたり、写真をカラーで見られたりと、便利です。

高原の自然館では、紙資源の節約と事務処理の軽減のため、インターネットの利用をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡芸北町東八幡原119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/nature@town.geihoku.hiroshima.jp>